

## リチウムイオン電池を含む電子機器等による発火事故が発生しています

スマートフォン、電子機器のバッテリーなど、リチウムイオン電池を含む電子機器がプラスチック容器包装類に混入し、プラスチックのリサイクル工場での発火トラブルが近年増加しています。電池が内蔵されている小型家電が、プラスチックで覆われていることから、誤ってプラスチック容器包装類に混入していることが見受けられます。事故を未然に防ぐために、小型家電及び小型充電式電池は市指定収集袋に入れず、分別にご協力をお願いします。

**小型充電式電池 → 充電することで繰り返し使える電池です。**



### 回収及び回収場所について

一般社団法人 JBRC が推奨するリサイクル協力店で回収しておりますので、お問い合わせください。協力店は、一般社団法人 JBRC ホームページ < リサイクル協力店検索 > でも検索できます。また、西東京市田無庁舎2階ロビー、エコプラザ西東京1階ロビーに回収BOXを設置しております。

電極（端子部）にビニールテープなどを貼り、絶縁してお出ください。



## カラスによる被害が増えています

カラスは視覚が鋭く集団で行動しており、常に食べ物がないか探し回っています。一度ごみを荒らされてしまうと、日常的に狙われたり、その地域一帯でカラス被害が広がる恐れがあります。また、カラスに突かれたごみ袋は、収集時に破けてごみが散乱してしまい、収集作業員が掃除することになるなど、二次的に被害が大きくなることもあります。



### カラス対策のポイント：生ごみを見せない、つつかせない

**指定袋に入れる生ごみを隠す**  
生ごみは新聞紙や紙袋等で覆って、指定袋の外側から見えないようにしましょう。

**カラス対策用ネットはしっかりかける**  
ネットのちょっとした隙間からごみをひっぱり出されてしまうこともありますのでご注意ください。

**カラスに荒らされた場合**  
カラスに狙われ続けてしまう危険性があります。対策を行って、カラスが諦めるまで注意が必要です。

## 強風による飛散が多発しています

強風により、資源収集用カゴやプラスチック容器包装類、ペットボトル等が飛散して、車道まで飛ばされている場合もあります。飛散物により、交通事故等の原因にもなりかねませんので、強風時にはごみ・資源物の飛散防止対策をお願いします。



## 廃家電や粗大ごみ、廃棄物の処分に「無許可の業者」を利用しないでください



家庭から出るごみなどを回収するには、西東京市一般廃棄物収集運搬業の許可が必要です。「ご家庭で不要となった物を回収します。」と、スピーカーのついたトラックで街中を巡回したり、「何でも格安で回収します。」と書かれたチラシなどを配り、家庭から出るごみを回収する業者がありますが、そのほとんどが、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない「無許可」の業者です。また、無料回収すると巡回し、車に載せた後に高額な料金を請求するケースもあります。「無許可」の廃棄物回収業者は、法を守った適正な処理を行っているか確認ができず、不法投棄・不適正処理・不適正な管理による火災などの事例も報告されています。「無許可」の廃棄物回収業者に、廃家電製品や粗大ごみの処分を依頼せず、市の回収に出すか、市が紹介した業者に依頼してください。

## 西東京市 ごみ・資源物の出し方 外国語版冊子をご利用ください

英語・中国語・韓国語の三カ国語あります。ごみ・資源物・粗大ごみ・処理困難物の排出ルール、出し方から品目別の分別方法を掲載しています。ごみ・資源物の出し方外国語版の冊子は、エコプラザ西東京2階ごみ減量推進課、田無庁舎市民課で配布しています。市HPからもダウンロードできます。

